

『お殿様と狩野派—秋田藩主佐竹氏と藩絵師狩野秀水家—』正誤表

展覧会図録に以下の誤りがございました。お詫びして訂正いたします。

頁	誤	正
43 (狩野秀水家関連図)	① <u>4</u> 代 洞琳由信 ②秀元貞信と秀水義信の間の傍線 (<u>実子を表す一重線</u>)	① <u>5</u> 代 洞琳由信 ②秀元貞信と秀水義信の間の傍線 (<u>養子を表す破線</u>)
69 (狩野秀水家年譜・嘉永元年)	秀水義信が生まれる。秀水義信はその後、秀元貞信の <u>娘婿</u> となる (時期不明)。	秀水義信 (<u>幼名金次郎 [良]</u>) が生まれる。その後、秀元貞信の <u>養子</u> となる (時期不明)。 ※図録刊行後の調査により、秀水義信は娘婿ではないことが判明した。
73 (作者解説・狩野秀水義信)	①秀元貞信の <u>娘婿</u> となり ②その後「狩野秀水家資料」は秀元貞信の <u>もう一人の娘</u> の家系に伝わった。	①秀元貞信の <u>養子</u> となり ②「狩野秀水家資料」を受け継いだのは秀元貞信の <u>長女</u> の家系と伝わっている。
73 (作者解説・狩野洞琳由信)	3代であった祖父洞寿克信の跡を継いで <u>4</u> 代となる。	4代であった父洞庭興信の跡を継いで <u>5</u> 代となる。
77 (作品解説 51 彦根屏風写)	「 <u>近世</u> 又平之図 きぬ地 金次良写之」	「 <u>浮世</u> 又平之図 きぬ地 金次良写之」
77 (作品解説 53 浅草寺嵩谷絵馬 鶴退治写)	狩野永徳の子で加藤清正のお抱えであった言信	※図録刊行後の調査により、「言信」は狩野洞琳由信の息子洞寿采信である可能性が考えられる。
78 (作品解説 67～73 昌珠院様御肖像画稿)	昌珠院とは第 <u>11</u> 代藩主 <u>義睦</u> の継室の戒名である。	昌珠院とは第 <u>12</u> 代藩主 ^{よしただか} <u>義堯</u> の継室の戒名である。